

議会のトビラ

TOPICS

平成31年度予算を審査

議案の審議結果

常任委員会の報告

ここが聞きたい 11人が一般質問

議会報告会のお知らせ

子育て世代による 意見交換会を開催



チームワークで勝ち取った勝利（帷子バレーボール）

若い世代の声を議会へ

可児市議会では、これからの可児市を担う若い世代の声を聞き、若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちづくりのための政策に反映したいと考えています。そのために、2つの取り組みを行いました。

高校生議会

開催日 平成31年2月5日

場所 市役所5階 議場及び委員会室

内容 今年11月に開催される「全国山城サミット」や2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」放映に当たり、これからの可児市のPRや集客について、8グループに分かれて可児高校生と意見交換を行いました。そして、議場において意見を発表してもらい、議員からの質疑を行いました。



厳粛な議場で緊張の面持ち

参加した生徒たちは、可児市の良いところや、明智光秀の人物像をどのようにPRしたらいいのかといった点について、真剣に議論していました。
今まで知らなかった可児市の歴史や魅力について知る機会となり、地域愛の醸成につながったと思います。

子育て世代による意見交換会

開催日 平成31年1月25日

場所 子育て健康プラザ「マリーノ」

内容 昨年5月、可児駅前オープンした子育て健康プラザ「マリーノ」について、子育て世代の方との意見交換を行いました。単なる行政への要望ではなく、改善策も含めた意見をいただきました。



グループごとに発表



活発な意見交換

「開館時間が長くて子どもの居場所ができた」などの良い点や、「授乳室をもっと使い勝手のいいものにしてほしい」などの要望、また、「開催する講座をYouTubeで動画配信する」などの提案もいただきました。
参加者からは、「他のお母さんの頑張りや新しい情報を知ることができてよかった」「マリーノの良さをもっと発信していきたい」という感想が出ていました。

税金の使い道が決まりました



一般会計

314億5000万円

総額

590億3750万円

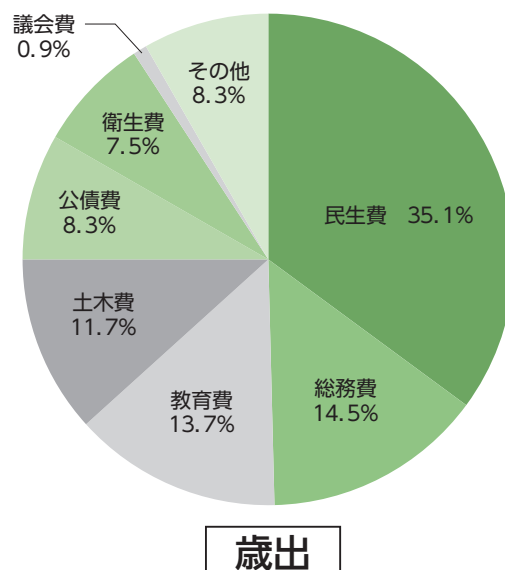
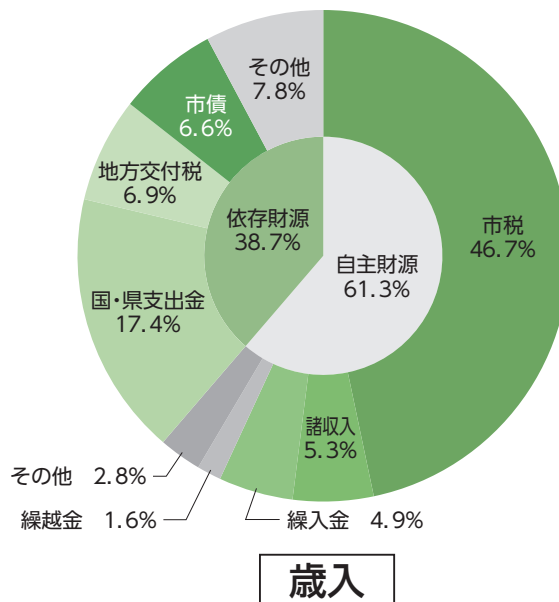
平成31年（2019年）第1回定例会を2月26日から3月22日までの25日間の会期で開き、平成31年度予算など29議案を審議しました。

このうち、平成31年度予算案については、2日にわたり9時間かけて説明を聞いた後、113項目の質疑を経て、提案どおり可決しました。

各会計予算

一般会計	
	314億5000万円
特別会計	
国民健康保険事業	107億3800万円
後期高齢者医療	12億700万円
介護保険	70億8170万円
自家用工業用水道事業	1億6000万円
農業集落排水事業	1億7500万円
可児駅東土地区画整理事業	2億90万円
財産区	2990万円
企業会計	
水道事業	31億1100万円
下水道事業	48億8400万円

一般会計予算の内訳構成



主な事業について、次ページで紹介します。

予算編成 4 つの柱と主な事業

これまで取り組んできた4つの重点方針を継続し、「住みごこち一番・可児」の実現に向け、「安心なまち」「元気なまち」「楽しいまち」をつくるための持続的な発展を目指す内容となっています。

市が重点事業と位置づけている事業の中から、新規事業や予算額の大きい事業を中心に掲載します。

※1万円未満切り捨て

1 高齢者の安気づくり

高齢者生きがい推進事業 2342万円

民生委員や行政関係者による80才以上の方への訪問、75才以上の方への通信発送や、老人クラブへの支援等、高齢者の社会参加を促し生きがいづくりを推進する事業を行います。



民生委員による訪問

- ・介護サービス経費等 65億3714万円
- ・後期高齢者医療事業 9億5206万円
- ・成人各種健康診査事業 1億4025万円

2 子育て世代の安心づくり

子育て支援拠点運営事業 5558万円

地域子育て支援センターの運営支援や、昨年5月にオープンした子育て健康プラザ「マーノ」での利用者支援事業を行います。



マーノ内 絆(きっずな)るーむ

- ・市立保育園管理運営経費 2億5022万円
- ・キッズクラブ運営事業 1億4525万円
- ・児童センター管理運営事業 5423万円

3 地域・経済の元気づくり

大河ドラマ活用推進事業 1億2427万円

2020年のNHK大河ドラマで明智光秀が取り上げられることを活かし、全国への発信及び観光誘客を進めます。



明智城大手門跡（瀬田地内）

- ・文化創造センター大規模改修事業 8億5630万円
- ・可児御嵩IC隣接流通・工業団地開発事業 6000万円
- ・全国山城サミット開催経費 800万円

4 まちの安全づくり

災害対策経費 1728万円

防災備蓄品の適正な管理を行います。また、危険区域に居住する要支援者に対して災害情報の発令を知らせるオートコールサービスを開始します。

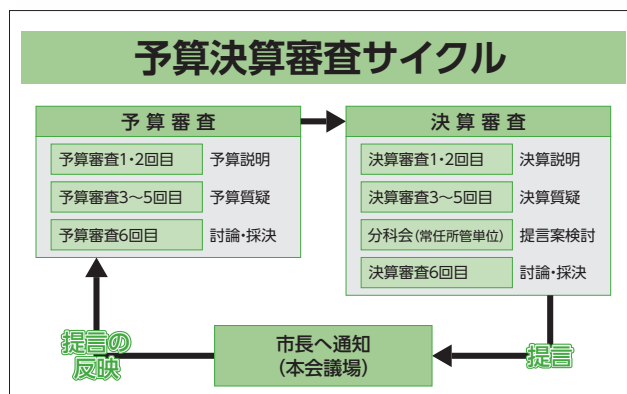


備蓄食料、飲料水

- ・道路維持事業 2億4890万円
- ・市道117号線改良事業 1億3845万円
- ・公共交通運営事業 1億5487万円

◆平成31年度予算に対して議会が行った提言に対する市の対応◆

平成30年9月定例会において行った、平成31年度予算編成へ活かすための6つの提言に対して、以下のとおり回答を受け取り、予算にどのように反映されたかを確認しました。



1.災害時の情報伝達について

発災時、市民への情報伝達が十分に行えるよう、防災アプリの導入も含めた様々な伝達方法の構築を図ること。また、「すぐメールかに」の広報活動を強化し、登録者の拡充に努めること。

【回答】「すぐメールかに」登録拡充への取り組みを継続するとともに、「YAHOO！防災速報アプリ」の登録や「FMらら」の聴取に関し同時に啓発していく。また、土砂災害警戒区域等に住む要支援者に対し、「オートコールサービス」を導入し、様々な情報伝達で災害情報を届ける仕組み作りを構築する。

2.ふるさと応援寄附金について

寄附者に個々の事業を応援していただくため、具体的な事業内容や実現可能達成額を示すなど、魅力あるメニューを作成すること。

【回答】魅力あるメニューとするよう毎年度見直しを行っており、寄附者に共感してもらえる事業や本市の特徴を生かしたメニューを作成する。

3.自治会加入について

地域防災において自治会の担う役割は大きい。市民への情報提供のあり方や条例化などの対応策を研究し、加入率の低い若者世代や外国人定住者を含め加入促進を図ること。

【回答】平成31年1月に自治連絡協議会に設置された「自治会加入促進検討委員会」を積極的に支援するとともに、市民へのよりよい情報提供に向け、ホームページの見直しなどを行う。

4.交通安全対策について

道路整備に際し、歩行者及び自転車が安全に通行（通学）できるよう配慮し、利用者が安心できるまちづくりを行うこと。

【回答】「通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関と連携し整備する。

5.小中学校、保育園、幼稚園の暑さ対策について

猛暑への対応として、早期に空調設備設置を行うこと。

【回答】平成30年度補正予算により、今夏までにすべての市立保育園・幼稚園の保育室等に空調設備が設置される見込み。

6.キッズクラブ待機児童の解消について

キッズクラブの待機児童について、市長部局と教育委員会が共に待機児童解消に努めること。

【回答】教育委員会と継続して協議を行い、学校での受け入れ場所の確保を進める。増加が著しい土田小学校キッズクラブの専用教室増設の実施設計を行う。

常任委員会報告

第1回定例会の議案審査等の概要です。

予算決算委員会

今期定例会では平成31年度予算14件、平成30年度補正予算6件について審査を行いました。

なお、予算審議を経て、今後の予算執行に関する7点の要望を行いました。



一般会計

反対

低所得層ほど配分が少なく負担が重くのしかかる消費税増税のもとでの予算であること、電源立地地域対策交付金やリニア建設促進期成同盟会分担金が含まれていること、グラドルルールにより一般競争入札に付すべき事業が随意契約と

賛成

予算規模は減額となったものの、市民サービスの向上と持続的発展を目指そうとする姿勢が示されている。
市税は、前年度対比2・6%増で歳入に占める割合は46・7%と、適切な歳入の確保がな

されている。

市債は、可児駅前線街路事業、可児駅自由通路整備事業、臨時財政対策債などの影響で減少、文化創造センター大規模改修事業や庁舎空調設備事業などには、財源的に有利な合併特例債の有効活用や公共施設整備基金を活用するなど、効果的な予算計上がなされている。

「高齢者の安気づくり」として、新たに高齢者を孤立させない仕組みの構築、「子育て世代の安心づくり」として、特別な配慮が必要な家庭への支援の強化、保護者ニーズに対応するためのキッズクラブ整備を行うとしている。「地域・経済の元気づくり」として、大河ドラマ活用関連事業、全国山城サミットの開催、可児御嵩インターチェンジ隣接流通・工業団地開発事業、「まちの安全づくり」として、オートコールサービス事業、可児駅東土地区画整理事業なども限られた財源の中で一

定の予算規模が確保されている。

「住みごこち一番・可児」を将来像とした4つの重点方針に基づいた施策と、次世代に大きな負担をかけない財政基盤にも配慮した予算であり、賛成。

後期高齢者医療特別会計

反対

軽減措置が廃止され負担増となる中、消費税対策とされる年金生活者支援給付金は、加入年数に比例し、生活の苦しい人ほど支給額も少ない。高齢者の生活を脅かす後期高齢者医療制度には反対。

賛成

後期高齢者医療制度は県単位で運営され、窓口での自己負担区分、高額療養費、葬祭費など県内同一である。また、各種健診に取り組み、被保険者の健康保持増進を図っている。
保険料や一般会計からの法定繰入金を確保し、広域連合と連携しながら、健全な財政運営や事業運営が行われており、賛成。

介護保険特別会計

反対

平成30年8月からの一部利用者の負担割合増加、10月からの生活援助サービスの利用制限など、給付抑制が拡大されている。

今後は、要介護1及び2の生活援助サービスの総合事業への移行や、施設の食費、部屋代を軽減する補足給付の資産要件に宅地など固定資産を導入することとも議論されており、ますます保険あつて介護なしの状況が広がる懸念があり、反対。

賛成

引き続き第7期計画に基づき、地域包括ケアシステムの構築、地域における支え合い活動と高齢者の社会参加を促す介護予防活動や医療と介護の連携、認知症対策等の各種事業に取り組んでいる。

また、第8期計画作成に向けた調査や、低所得者への軽減を見込むなどの介護保険制度を安

定的に継続していく予算となっており、賛成。

総務企画委員会

犯罪被害者の権利利益の保護を

犯罪被害者等支援条例の制定について審査しました。

Q 犯罪被害者等の定義は。

A 犯罪等により害を被った者及びその遺族で、本市に住民登録のある方。

Q 犯罪被害者等見舞金の支給基準は。

A 被害者が亡くなった場合に遺族に支払われる遺族見舞金と、犯罪行為により重傷病を負った方への重傷病見舞金との2本立てで、別途規則により金額を定める。刑法犯罪と特別法犯罪が対象となるが、犯罪の種別による見舞金の多寡はない。

消費税増税中止を求める請願

「消費税増税中止を求める意見書」提出を求める請願について審査した結果、不採択となりました。

反対

主旨は理解できるが、既に国において法律が制定されていることであり改めての意見書提出については反対。

賛成

現在非常に消費が冷え込んでいる。可処分所得も結果的に物価の上昇に追いついていない状況にあつて、請願内容に共感できるので賛成。

建設市民委員会

可児市消費生活センターを設置

消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について審査しました。

Q 相談員の資格、体制は。

A 国家資格である消費生活相談員資格のある者と、相談員資格のみなし合格とされる消費生活専門相談員、消費生活アドバイザーの合わせて3名の体制である。

教育福祉委員会

災害援護資金の貸付利率等を改正

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について審査しました。

Q 月賦償還の方法は。

A 元利均等であるため一定額での償還となる。

Q 貸付限度額の基準となる被害の程度はどの様に判断するか。

A 罹災証明等で判断することとなる。

提出された議案と審議結果



第1回定例会に提出された議案は、予算20件、条例6件、人事2件、その他1件であり、それ以外に請願1件と委員会発案3件がありました。請願以外はすべて原案のとおり可決しました。

番号	件名	結果	番号	件名	結果
議案	1 平成31年度一般会計予算	○	議案	18 平成30年度水道事業会計補正予算(第1号)	◎
	2 平成31年度国民健康保険事業特別会計予算	◎		19 平成30年度下水道事業会計補正予算(第3号)	◎
	3 平成31年度後期高齢者医療特別会計予算	○		20 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	◎
	4 平成31年度介護保険特別会計予算	○		21 行政財産の目的外使用に係る使用料徴収条例の一部改正	◎
	5 平成31年度自家用工業用水道事業特別会計予算	◎		22 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	◎
	6 平成31年度農業集落排水事業特別会計予算	◎		23 犯罪被害者等支援条例の制定	◎
	7 平成31年度可見駅東土地区画整理事業特別会計予算	◎		24 消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定	◎
	8 平成31年度土田財産区特別会計予算	◎		25 水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正	◎
	9 平成31年度北姫財産区特別会計予算	◎		26 副市長の選任	◎
	10 平成31年度平牧財産区特別会計予算	◎		27 可茂広域公平委員会委員の選任	◎
	11 平成31年度二野財産区特別会計予算	◎		28 市道路線の認定	◎
	12 平成31年度大森財産区特別会計予算	◎		29 平成30年度一般会計補正予算(第6号)	◎
	13 平成31年度水道事業会計予算	◎	請願	1 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	△
	14 平成31年度下水道事業会計予算	◎	発案	1 可見市議会市政経営計画検討会議の設置	◎
	15 平成30年度一般会計補正予算(第5号)	◎		2 可見市議会委員会条例の一部改正	◎
議案	16 平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	◎		3 太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書	◎
	17 平成30年度可見駅東土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	◎	【結果の表示記号】		
			◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 △賛成少数で不採択		

議案の詳しい内容については、議会ホームページで確認いただくか、議会事務局窓口で閲覧することができます。

第1回定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件等は、全会一致で可決しています。

	大平	田原	高木	渡辺	出口	伊藤	板津	勝野	天羽	澤野	酒井	川上	野呂	川合	山田	山根	中村	伊藤	富田	亀谷	可見	林
	伸二	理香	将延	仁美	忠雄	壽	博之	正規	良明	伸	正司	文浩	和久	敏己	喜弘	一男	悟	健二	牧子	光	慶志	則夫
議案第1号 平成31年度一般会計予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第3号 平成31年度後期高齢者医療特別会計予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第4号 平成31年度介護保険特別会計予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
請願第1号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	●	欠	●	○	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	●	●

※○は賛成 ●は反対 ※議長（澤野伸）は採決に加わらない。※田原理香議員は体調不良により欠席

太陽光発電施設の立地規制等に係る法整備を求める意見書

市内にも太陽光発電施設が増えてきており、景観の阻害、生活環境の悪化を招くことも危惧されます。このため、立地規制に係る法整備や地元自治体の意見を反映させる仕組みの構築等を求める意見書が建設市民委員会より提案され、国へ提出することとなりました。

一般質問

11人が市政を問う

市の方針や市民の皆さんの生活に関わる大切な内容について、議員が市に対して質問を行いました。一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。ご不明な点は議員にお尋ねください。



下記二次元コードを読み取っていただくと議場での様子を映像にてご覧いただけます。



サッカーゴールの早期改善を

Q 全国的に学校管理下でサッカーゴール転倒等事故が多く起こっている。本市が管理する場所に鉄製のサッカーゴールはどれだけあるか。

A 運動施設で本市が管理しているサッカーゴールは、すべてアルミ製ゴールになっている。一方学校では、小学校11校で20対の内13対、中学校5校で8対の内3対が鉄製である。

アルミ製に入れ換え安全対策を

Q 鉄製のサッカーゴールは重量が重いため移動が難しく、転倒した際に大事故になりかねない。また、前に倒れやすいため、コンクリートの塊を重石にして固定しているゴールもある。子どもの転倒時の

危険性を考え、軽くて丈夫なアルミ製サッカーゴールに早期に入れ換えを。

A 鉄製でもアルミ製でも事故未然防止対策は必要である。重量が軽いアルミ製サッカーゴールに入れ換えれば事故が防止できるとは一概に考えていない。今後も他の備品と同様に、学校からの要望の優先順位などを勘案して予算の範囲内で更新していく。



あも う よしあき
天羽 良明



アルミ製サッカーゴール

市財政の将来見通しは



さかい まさし
酒井 正司

Q 社会構造の変化により市財政運営は厳しさを増す。その対応策は。

A 少子高齢化や人口減少等により、将来、歳入の根幹である市税収入の大幅な増加は見込めない。歳出では社会保険費の増加は避けられず、学校、地区センター等の施設を初め、道路、河川などのインフラ整備も欠かせない。

2020年度にスタートする(仮称)可児市政経営計画では今後の厳しい財政状況においても適切な市民サービスが継続できるよう、施策の取捨選択と推進を図る。ハード面で対応できない部分をソフト面で補うことや、市民の皆さんとの協働などを工夫したい。

環境保護施策の推進加速を

Q 地球環境を悪化させずに次世代に引き継ぐ事は我々の責務だ。環境に配慮した潤いのあるまちづくりの取り組みは。

A 計画の二酸化炭素排出量削減目標は達成できる見込み。危険な街路樹30本程度は伐採するが、潤いのあるまちづくりの視点で、地域要望などを踏まえ街路樹の更新を進めたい。



長坂団地の長年よく管理された街路樹

防犯体制の充実を



かつの まさき
勝野 正規

Q 市として通学路等に防犯カメラの設置を必要とする箇所は想定しないのか。また、自治会等が防犯カメラを設置する場合、市補助制度に追加できないか。

A 現時点では、可児警察署と効果的な防犯カメラの設置について検討・研究を行っている状況である。

また、防犯カメラの設置が本当に効果があるのか、本市の見守りシステムでは不十分なのかといった懸念があり、効果が判断できないものに対して、補助制度を設ける予定はない。

防犯計画の策定は

Q 子どもたちを見守る、犯罪を未然に防ぐという観点から「可児市版 防犯計画」を

策定し、PDCAサイクルの中で防犯体制の充実を図るべきでは。

A 本年度、可児地区防犯協会と可児警察署が協同して、防犯上のポイントが記載されている防犯サポートブックを作成した。今後も可児警察署、可児地区防犯協会、各種団体や地域等と連携することで防犯活動を推進していくため、改めて可児市版防犯計画を策定する必要性は考えていない。



みのかも防犯まちづくり推進計画(概要版)

本市の大型連休への対応は



かわかみ ふみひろ
川上 文浩

Q 皇位継承に伴う特別法で

今年のゴールデンウィークは十連休となり、市民生活に大きな影響が出るのが懸念される。市内の医療体制はどうなっているか。

A 可児地域の一次医療体制は御嵩町と連携して可児医師会と協議中だが、連休中も診療する医療機関が何力所がある見込みだ。

Q 改元の5月1日は大安であり婚姻届などの集中が予想されるが市窓口業務の体制は。

A 改元の日5月1日は、婚姻届の来訪者が多く見込まれ、臨時の戸籍窓口開設を考えている。日直も1人増員の4人態勢とする。5月5日は午前8時30分から午後5時15分までの間、市民課、税務課、収納課で日曜窓口を開設する。



日曜窓口の様子

連休中の子どもの居場所作りは

Q 子育て健康プラザや地域の児童センターなど、子どもの居場所への配慮は。

A 子育て健康プラザは5月4日以外は開館する。帷子と桜ヶ丘の各児童センターも4月30日・5月2日に臨時開館する予定だ。

障がい者雇用の拡大を



とみだ まきこ
富田 牧子

Q 本市の障がい者雇用率は法定以下だった。平成31年度からの障がい者雇用はどのように改善されるのか。

A 平成31年2月現在の雇用率は2・05%で3人不足している。平成31年度からは、①障がい者の種別に限定しない障がい者枠の正規職員採用試験の実施と療育手帳所持者も別の採用試験を実施。②期間業務職員（臨時職員）の雇用を行う。③可茂特別支援学校の実習生の受け入れと卒業生の就職に関する学校との連携。

④障がい者雇用のための環境整備として、障がい者の特性や支援方法を熟知している専門職を支援員として配置する。

ひきこもりの人への支援体制は

Q 岐阜県は平成29年度にひきこもり地域支援センターを開設したが、本市での引きこもりの人への支援体制は。

A 第3期地域福祉計画に記載してあるように、高齢者、障がい者、子どもだけでなく生活困窮者等の制度のはざまに陥りやすい方等、あらゆる福祉課題を相談できる包括的な相談体制づくりを検討していく。



可児市第3期地域福祉計画

大河ドラマのまちづくりへの活用



たかぎ まさひろ
高木 将延

Q 花フェスタ記念公園内に大河ドラマ館を設置予定とのことだが、運営はどうなるのか。

A 隣接する交流展示スペースを含め、可見市大河ドラマ「麒麟がくる」活用実行委員会が行う。併せてイベントや誘客促進も実行委員会が担う。本市としては、市内6課にまたがるプロジェクトチームを設置し、委員会と連携しながら、明智城跡の整備や交通手段の検討等の課題にあたっていく。

観光戦略につなげるには

Q 逆賊のイメージの強い光秀をどうアピールし、ドラマ放送終了後の観光にもつなげる施策にどう活かしていくのか。



大河ドラマ館 平面図（案）
（花のミュージアム内）

A 明智光秀の「戦が強く、理性的で愛情にあふれ、文化人であった」人物像に焦点を当て、その魅力を市内外に伝えることにより、市民の誇りづくりや観光交流人口の増加につなげていく。持続的な本市の発展につなげていくよう、大河ドラマの活用を含めた観光戦略を重点施策の「地域・経済の元気づくり」の中で反映させ、策定中の（仮称）可見市政経営計画にどう位置づけるのか検討している。

ワクチン再接種に助成を



やまだ よしひろ
山田 喜弘

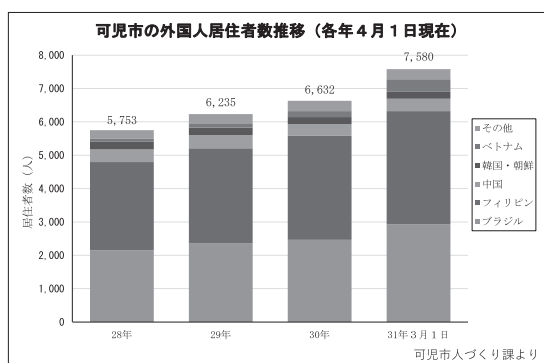
Q 骨髄移植等で抗体を失った小児はワクチンを再接種しなければならない。その場合、費用は全額個人負担となる。70あまりの自治体で再接種費用にに対し助成をしている。本市でも取り組んではどうか。

A 平成31年4月1日から実施できるよう準備を進めている。定期接種の委託単価相当額を償還払いで助成する。

外国人受入環境整備交付金の活用

Q 本市は平成31年3月1日現在、ブラジル人2926人、フィリピン人3394人、中国人370人等を合わせ、7580人の外国人が住んでいる。人口に占める割合は、7・41%となっている。この交付金の活用で環境整備を進

A 本市は現在4つの言語に対応しているが、原則11の言語に対応できる体制が必要で、多言語での対応が最重要となってくる。11言語に対応する翻訳機器の導入、相談場所の改善、案内看板の設置、込み入った相談も受けられる相談コーナーの設置を検討している。



本市における過去3年間の外国籍住民の推移

外国人児童生徒の学習環境は



かわい としみ
川合 敏己

Q 市内の外国人児童生徒は増加している。各学校の日本語指導を必要とする外国人児童生徒が日本語で授業内容を理解するための学習環境にはまだ改善すべき課題がある。

Q 国際教室の教師加配は十分か。

A 県は手厚く対応してくれているが十分とは言えない状況。

Q 国際教室でのICT機器の有効活用が必要ではないか。

A 国際教室には常備していないが、特別教室等ほかの教室にあるタブレットを共有し、有効利用している。

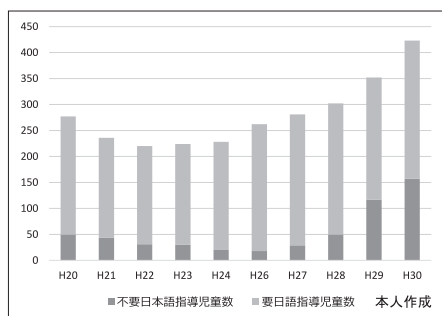
国際教室は全小中学校にはないが

Q 国際教室のない小中学校では外国人児童生徒はどのような状況で授業を受けているのか。

A 通常学級で授業を受けている。担任教師やスクールサポーターにより、補助説明や補助教材、机間指導、声かけ等の配慮をしているが十分とは言えない。

Q 国際教室のない児童生徒のために学区を越えた国際教室が必要ではないか。

A 本年1月から今渡北小学校と蘇南中学校で国際通級教室を実施し、日本語指導を受けられるようになった。



市内小学校外国人児童数推移

自衛官募集への協力は適切か



やまね かずお
山根 一男

Q 国は自衛官募集に関して18歳、22歳の適格者の名簿提出を求めている。国からの要請にどのように対応しているか。

A 平成29年度までは、住民基本台帳法に基づき募集対象者名簿を閲覧に供していた。

30年度は防衛大臣名での紙媒体等での提供要請に基づき、可児市情報公開・個人情報保護審査会に諮った上で、公益上、特に必要がある場合と判断し名簿を提供したものである。

自衛官等の募集事務の一部については、市の法定受託事務となっているなど、名簿提供については妥当であると考えている。

精神障がい者への就労支援

Q 精神障がい者を含め、障

がい者の雇用に関して、市役所として留意していることは。

A 働くに当たって支障となることや、本人への合理的配慮をきちんと把握することが必要である。平成31年度からは秘書課に障がい者支援員を配置し、市役所全体から可能な仕事を切り出して、障がいを持つている方に務めてもらう仕組みを考えている。

その他の質問 明智城周辺の魅力ある整備を



18歳・22歳等に届く自衛官募集はがき

井戸併用世帯下水料金の見直しを



いとう けんじ
伊藤 健二

Q 上水道と井戸水との併用世帯の下水道料金は、下水使用量に見合った料金に見直しが必要だ。少人数世帯の「認定水量」が実処理量よりも多めになる傾向があるので改善策を検討すべきだ。認定水量の数値を下げて、負担度合いを下げるのも方策ではないか。

A 認定水量は、洗濯機などの節水機能の向上、生活環境の変化による排水量の変化などの要因について十分な検証が必要である。独立採算を重視しつつ、より適正な料金となるよう認定水量も検討したい。

地域福祉増進、孤立のない社会に

Q 「高齢者の安気づくり」を進めるには、地域包括ケア体

制の補完が要る。いま対応強化中の介護予防・生活支援事業等を進め、介護保険事業計画の最終年に達成できるのか。

A 通所系サービスは利用者、給付費とも急増している。今後、住民主体のサービスBや一般介護予防事業などを創設、充実させ、「高齢者の安気づくり」につなげていく。介護予防を図ることで給付の伸びを緩和し、最終年に計画値の範囲内で給付を実施できると見込む。



地域支え合い活動紹介冊子より

児童虐待防止に向けて



わたなべ ひとみ
渡辺 仁美

Q 児童虐待防止に関して、学校、保育園など各機関との連携は。

A 学校や保育所への年1回の定期訪問の際に教員や保育士と情報共有を行い、連携を図っている。

Q 局番なしの全国共通ダイヤル「189」の普及についての考えは。

A 児童虐待防止推進月間の「オレンジリボンたすきりレー」等のイベントの際のPRや妊婦さんへ全員配布のガイドブックなどで周知に努めている。さらに色々な分野からの啓発方法を研究していく。

子育て健康プラザマーンの活用を

Q 子育て健康プラザマーンをいじめや児童虐待防止の拠

点としても活用してはどうか。

A こども健康部では関係機関と連携したケースへの対応や産前産後などのリスクの高い時期へのフォローに努めている。また、発生予防のため、全ての親子が孤立しないための居場所づくりや相談場所の確保に努めている。

今後子どもたちの命を守るため、児童虐待防止への取り組みを一層進めていく。



児童相談所全国共通ダイヤル189

議会レポート

このコーナーでは、議会が本会議以外で行っているさまざまな活動を、写真で報告していきます。

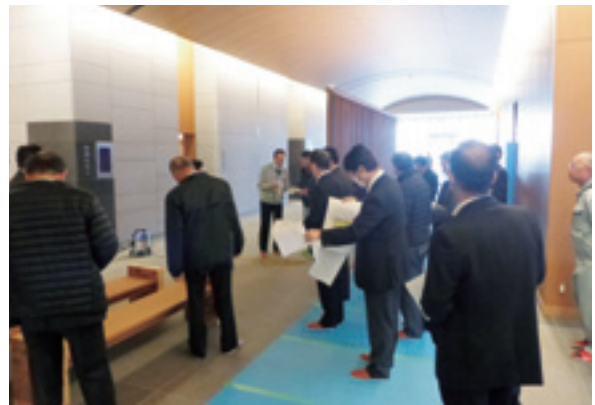
▼建設業連合会との懇談会 (2月12日)

建設市民委員会は、建設業連合会との懇談会を行いました。人材確保に苦勞している現状をお聞きし、地域課題懇談会や高校生議会など、議会の取り組みの中で、若い世代が地元企業を知る機会を提供できればと感じました。



▼可茂聖苑新火葬場視察 (3月4日)

可茂衛生施設利用組合が運営する可茂聖苑（美濃加茂市）の火葬場が新しく建設されました。4月に開場となるのを前に視察を行い、建物や設備について説明を受けました。



内容

- ①平成31年度予算の審査報告
- ②意見交換
- 「テーマ」 災害への備え

下恵土地区センター

（日時） 5月11日（土） 午前10時～11時30分

土田地区センター

（日時） 5月11日（土） 午後1時30分～3時

桜ヶ丘地区センター

（日時） 5月12日（日） 午後3時～4時30分

兼山地区センター

（日時） 5月13日（月） 午後7時～8時30分

議員と語る

議会報告会にお越しください

市民の皆さんに議会の活動を知っていただき、また直接ご意見を伺うために、議会報告会を開催します。事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。



昨年11月の議会報告会の様子

ケーブルテレビで放映します

「CTKタイムズかにみた！」第2部の中で、平成30年度下半期の議会活動をお伝えする番組「議会のトビラ」を放映します。ぜひご覧ください。

放送

5月1日（水）～5月7日（火）

17時20分・19時20分・22時20分ほか

第2回定例会のお知らせ

5月

28日 開会日（議案説明）

6月

4日 一般質問・議案質疑
5日

7日 予算決算委員会

10日 総務企画委員会

12日 建設市民委員会

13日 教育福祉委員会

20日 閉会日（委員長報告・討論・採決）

会議は午前9時開会の予定です。

日程は、都合により変更となる場合もあります。

地域のかがやき 地域の笑顔

広見／歌声喫茶ミニコンサート



楽しく歌って心もボカボカ

久々利／ふれあいウォーキング



パパといっしょにレッツゴー



チョット おじゃまします

※今回は、和太鼓演奏の「双龍太鼓」さんに大平議員と高木議員がおじゃまして、代表の小栗さんにお話を伺いました。

広報委員：どのようなきっかけで始められましたか。

小栗さん：最初は当時の今渡公民館主催の講座からです。せっかく集まったので、そのまま続けようという事で、かれこれ20年経ちました。

広報委員：現在、何人で活動されているのですか。

小栗さん：小学2年生から大人まで総勢42名です。

広報委員：活動の主な内容をおしえてください。

小栗さん：2月の定期演奏会に向け、月3回練習しています。依頼があれば、地域や企業のイベントで演奏したり、施設に慰問に伺ったりしています。

広報委員：（子どもたちへ）双龍太鼓に参加してどうですか。

青木さん：始めて9年目になります。演奏会に向け、仲間と一緒に練習できることが楽しいです。

白木さん：発表会で初めて太鼓を打って、ちゃんと習いたいと思い、頑張って練習しています。

広報委員：活動を通じて伝えたいことはありますか。

小栗さん：太鼓は人づくりの手段のひとつ。人を愛する心や人と接する時の優しい気持ちを育てていきたいと思っています。

取材を終えて

子どもたちの礼儀正しい姿勢がとても印象的でした。今渡の方だけではなく、市内から集まっているとのことでした。迫力ある和太鼓演奏に興味のある方はどなたでも参加できます。

